

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **01-228878**

(43)Date of publication of application : **12.09.1989**

(51)Int.Cl.

**B41J 29/38**

**B41J 21/00**

**B41J 29/42**

(21)Application number : **63-053740** (71)Applicant : **FUJITSU LTD**

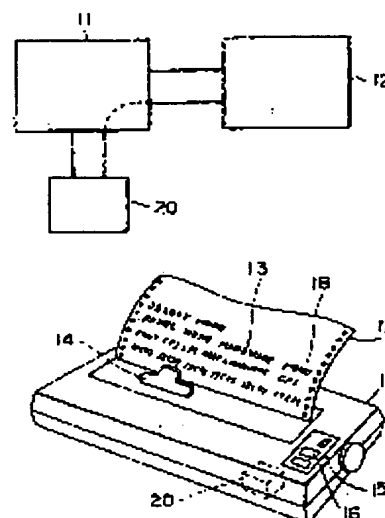
(22)Date of filing : **09.03.1988** (72)Inventor : **IDOUJI SHIGEKI**

## (54) PRINTING MODE SETTING FOR PRINTER

(57)Abstract:

**PURPOSE:** To easily confirm a set item by providing printing means for printing on a sheet after a set item is set.

**CONSTITUTION:** A menu of the set content of the printing mode of a printer 11 is printed in advance on a sheet 12, a carriage 14 is moved to a place of a necessary printing mode of a printed item 13, the pushbutton 16 of a control panel 15 of the printer 11 is pressed to set the printing mode. After the selected and set item is set, it is printed on the sheet 12 by menu printing means 20. Thus, selected printing mode can be easily confirmed.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-228878

⑮ Int. Cl.

B 41 J 29/38  
21/00  
29/42

識別記号

庁内整理番号

Z-6822-2C  
Z-7810-2C  
F-6822-2C

⑬ 公開 平成1年(1989)9月12日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 プリンタの印字モード設定方式

⑰ 特 願 昭63-53740

⑱ 出 願 昭63(1988)3月9日

⑲ 発 明 者 伊 堂 寺 茂 樹 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑳ 出 願 人 富 士 通 株 式 会 社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁 理 士 土 橋 皓

明 細 書

1. 発明の名称

プリンタの印字モード設定方式

2. 特許請求の範囲

プリンタ(11)の印字モードの設定内容のメニューを用紙(12)に印字して、必要な印字モードを選択するモード設定方式において、

設定された項目を、設定後に前記用紙に印字するメニュー印字手段(20)を設けたことを特徴とするプリンタの印字モード設定方式。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

コンピュータからのデータを受け取って印字するプリンタの、印字モードの設定内容のメニューを印字して必要な印字モードを選択するモード設定方式において、モード設定方法を改善したプリンタの設定制御方式に関し、

設定した項目を容易に確認することができる、設定方式を得ることを目的とし、

設定された項目を、設定後に前記用紙に印字する印字手段を設けるように構成する。

(産業上の利用分野)

この発明は、コンピュータからのデータを受け取って印字するプリンタの、印字モード等の設定を、ディップスイッチ等の代りに、設定内容のメニューを印字して、必要な印字モードを選択するモード設定方式において、モード設定方法を改善したプリンタの印字モード設定方式に関する。

(従来技術)

従来コンピュータからのデータを受け取って印字を行うプリンタで、プリンタの印字モードの設定を、ディップスイッチ等の代りに、設定内容のメニューを用紙に印字して、必要なモードを選択するモード設定方式としては、例えば第5図に示すように、プリンタ1の印字モードの設定内容のメニューをまず用紙2に印字して、印字されたメニューの中から、設定すべき項目が印字されてい

る文字のところまでキャリッジ3を移動させて、設定項目を選択し、更に選択した項目の中での細目のメニューを印字して、その印字された中から、必要な細目のモードを選択するようになっている。第6図は実際の設定モードの一例で、設定モードの表示が出てその中でMENUを選択し、MENUの中の第1の項目のメニューの中からCPIを選択し、いろいろなCPIを提示する第2の項目のメニューの中から17CPIを選択した場合を示している。このようにして各種の印字モード等が設定されて後実際の印字が行われる。

#### (発明が解決しようとする課題)

ところでこのような、従来のモード設定方式にあっては、印字されたメニューを見ながら、これから設定しようとする項目が印字されているところへ、キャリッジを移動させて設定を行うこととなっているため、設定が終ったあとで、設定した際に印字された用紙を見ても、何が設定されたか解らなくなってしまうという問題があった。また

と、プリンタ11の印字モードを用紙12に印字されたメニューから選択するとき、選択して設定した項目を、設定後にメニュー印字手段20によって前記用紙12に印字する。これによって選択された印字モードが容易に確認できる。

#### (実施例)

以下、この発明の実施例を図面に基づいて説明する。

第2図は本発明の一実施例を示す構成図で、プリンタ11の印字モードの設定内容のメニューを用紙12に予め印字し、印字された項目13の必要な印字モードのところへキャリッジ14を移動させ、そこでプリンタ11のコントロールパネル15の押しボタン16を押して、印字モードを設定するものである。そして設定された項目を、設定後直ちに、用紙12のメニューを印字した行の右端18に印字するメニュー印字手段20が設けられている。

次に第3図の流れ図に基いて設定が行われ、

これを少しでも改善するために、選択した項目のところにアンダラインを引く等、印字された項目に修飾を加えて、設定された項目に記録を残しておくことが行われていたが、見難い上に操作が煩わしいという問題があった。

この発明は、このような従来の課題に着目してなされたもので、設定した項目を容易に確認することができる、印字モード設定方式を得ることをその目的とする。

#### (課題を解決するための手段)

そして、この目的を達成するために、本発明にあってはその構成を、プリンタ11の印字モードの設定内容のメニューを用紙12に印字して、必要な印字モードを選択するモード設定方式において、設定された項目を、設定後に前記用紙に印字するメニュー印字手段20を設けることとした。

#### (作用)

次に第1図に基づいて本発明の作用を説明する

印字が行われる場合の過程を説明する。まず現在のプリンタの状態がセットアップモードであるかどうかを判断し(S1)、そうでなければ実際のプリントが行われている場合であるが、セットアップモードであれば、最初の大項目のメニューの文字列をROMより読み出して用紙12に印字する(S2)。すると印字された項目を選択するためのRAMで形成されているセレクトカウンタを最初の項目にセットする(S3)。セレクトカウンタはキャリッジ14の動きと連動しており、キャリッジ14は最初の項目の所に移動する。オペレータはキャリッジ14が停止して指示している項目が所要の項目でなければセレクトボタンを押すが、セレクトボタンが押されれば(S4)セレクトカウンタはカウントを開始し(S5)、それによってこの場合カーソルの役目をしているキャリッジ14は、次の印字された項目に移動する(S6)。このようにカーソルとしてのキャリッジ14が次々に各項目の上を移動するが、その中に設定すべき項目があれば、オペレータは

その項目の所にキャリッジ14が来たとき設定ボタンを押す。設定ボタンが押されなければセレクトカウンタはカウントを続けるが、設定ボタンが押されれば(S7)、そのときのセレクトカウンタの値から、どの項目が設定されたかが判別されるから、その項目をROMより読み出して文字列の右端に印字する(S8)。次には選ばれた大項目に属している下位の項目について、その項目の一番目の項目とメニューの文字列をROMより読み出して印字する(S9)。そして前回に設定されたデータが書き込まれている不揮発性メモリ又はRAMよりデータを読み出し、キャリッジ14のカーソルをその読み出したデータと対応した項目へ移動し(S10)、読み出したデータをセレクトカウンタに入れる(S11)。次に前記のS4～S8までのステップで行われたと同様な経過がS12～S16までのステップで行われ、設定された項目を文字列の右端に印字する。そこで終了ボタンが押されなければ(S17)、次のランクの項目とメニューの文字列をROMより読

み出して印字し(S18)、設定を継続するが、終了ボタンが押されれば(S17)、それまでに設定されて更新されたRAMのデータを、不揮発性メモリ又はRAMに書き込んで設定が終了し(S19)、セットアップモードを脱出して通常のプリントが行われるようになる(S20)。

実際に行の右端に印字した場合の例を第4図に示すが、第6図の場合と同様に設定モードの表示が出てその中でMENUを選択し、MENUの中の項目1のメニューの中からCPIを選択し、いろいろなCPIを提示する項目2のメニューの中から17CPIを選択した場合を示している。選択されたメニューが右端に上から下へ印字されている。

よってメニューの中から設定した項目は、行の右端を見て行けば、どのような項目が選択されたかを容易に確認することができる。

なお本実施例ではメニュー印字手段20によって、今選択したメニューが印字されている行の右端に、選択が行われた直後に、その選択された

モードを印字するようにしたが、必ずしも行の右端に印字せず所定の位置に印字してもよく、また設定の直後ではなく、印字のための一連のモードの設定が終ったとき、全部の設定項目を一度に印字するようにしてもよい。

図は従来の用紙に印字されたメニューの様式図である。

- 11…プリンタ
- 12…用紙
- 20…メニュー印字手段

#### (発明の効果)

以上説明したようにこの発明によれば、プリンタの印字モードの設定内容のメニューを用紙に印字して、必要な印字モードを選択するモード設定方式において、設定された項目が印字が終了した後でも容易に確認することができて、次にプリントする場合の参考になり、しかも便利になる。

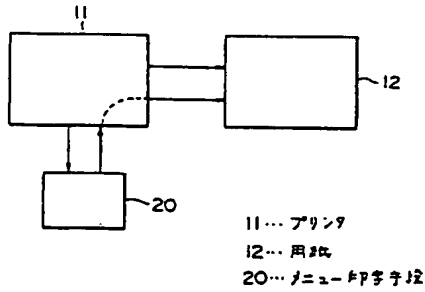
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理ブロック図、第2図は本発明の一実施例の構成を示す斜視図、第3図は実施例の作動の流れ図、第4図は用紙に印字されたメニューの様式図、第5図は従来のプリンタで印字モードを用紙に印字するものの斜視図、第6

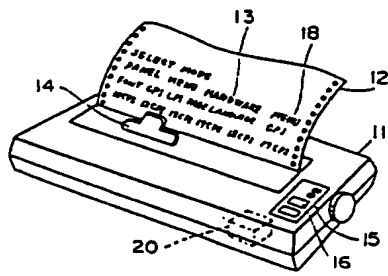
特許出願人  
代理人

富士通株式会社  
弁理士 土橋 晴

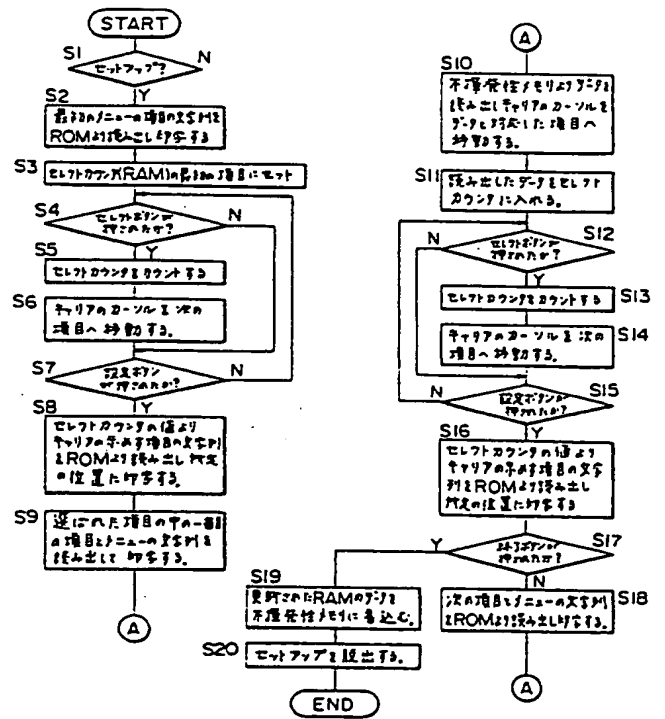




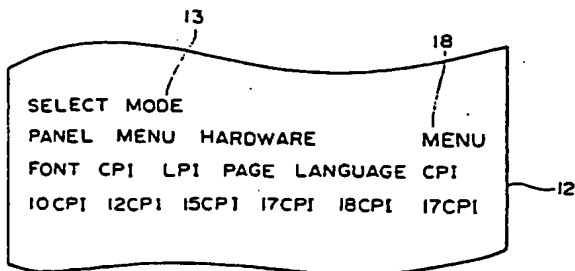
本発明の原理図  
第 1 図



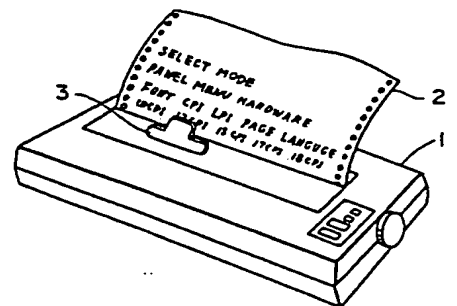
実施例のプリンタ  
第 2 図



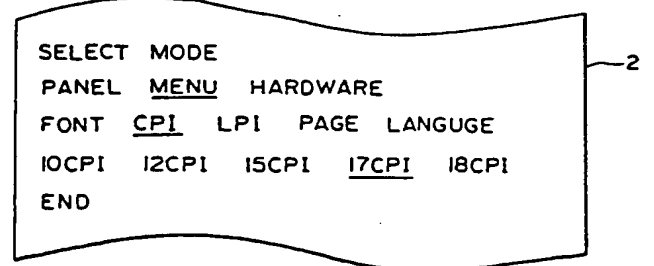
実施例の動作フロー図  
第 3 図



印字されたメニューの様式  
第 4 図



従来のプリンタ  
第 5 図



従来の印字されたメニューの様式  
第 6 図